

御宿台

Onjukudai-ku News

2003 夏号

No. 13

区運営委員会編集・平成15年7月1日発行



サボテンの花

夜目にも白く、一夜の命を謳歌しているようです

写真と文：矢作 舜二 (238-12)

最近の報道によると、一部の政党から少子化社会対策基本法が提案され審議中とのことである。昨年ついに65歳以上の人口が15歳未満の人口を上回り深刻な社会現象の到来を実感させられる。我国は世界でも最も長寿の国である。この点だけを見ればとても好ましい現象ではあるが、反面、出生率の低下により少子高齢化というアンバランスな社会現象による歪みが、今後あらゆる面でマイナス要素となることが懸念されている。

既に30数年前には、今日の少子高齢化社会の到来が予測されており、一部の私立大学等では危機感を抱き入学生減少対策を実施してきたが、この30数年間に国や地方自治体等はどんな対策を実施してきたのだろうか。ただ聞こえてくるのは山村でも都市部でも歴史のある学校が人口減少により次々と廃校となる便りだけである。

ここ御宿台は、当初別荘地として開発された街だが、近年定住者が増えており、別荘に対する定住者の比率は同等に近付きつつあるが、主としてリタイア族の住むアンバランスの最たる特異な街である。世の中、何事もバランスの上に成り立っており、自然界でも常に自らの力でバランスをとり崩壊や消滅を避けているとのことである。

この先、御宿台の街を存続してゆくためにはある程度のバランスの調整が必要だと思われる。最近は二世帯や三世帯同居の家庭も少しずつではあるが増えてきているようで、僅かではあるがホームタウンの佇まいを呈してきているようである。願わくばもっと若い世代の方々にも入居してもらい、バランスのとれた活気のあるホームタウンの雰囲気をもった街になってゆくことが望ましいと思う。

佐伯 光一 (405-12)

御宿台区の動き

区運営委員会から

二つの専門委員会が発足します

すでにご案内のとおり、運営委員会では、下記二つの重要案件を審議するため、専門委員会をそれぞれ設置することになりました。本来の区運営委員に加えて、区民有志の方々にも案件討議にご参加願うものです。

①「維持管理費の有効活用」に関する専門委員会（仮称）

将来の開発状況をも視野に入れた維持管理費のあり方と、その有効活用方法について、利用者としての立場から考え方を整理します。

②「御宿台区規約改正」に関する専門委員会（仮称）

現在の区規則に追加・変更などをおこない、現状に即した改定案を策定します。

全般的な区民意見の集約方法としては、その他の問題も含めてアンケートを実施し、結果にもとづいて西武に申し入れをしていきます。まず、「維持管理費の有効活用」についての専門委員会を早急に立ち上げ、9月頃を目処にその結果を取りまとめる予定です。

CATV対応、まず正確な情報収集から

当地域はテレビの難視聴地域であることから、円滑なテレビ受信を目的とした共同集中アンテナ(CATV)が設置されています。開発も10年余を経た今、設備全体の劣化や頻繁に発生する故障への対応に迫られています。円滑な機能を保障するためには適切な保全対策が必要となります。

管理業務に関する先般の西武提案にも見られるとおり、これに係る維持管理費は大きく、加えて、いわゆる地上波のデジタル化計画が進められていることはご承知のとおりです。

続発する不具合に対しては、従来通りの保全措置の継続か、あるいは設備全体のリニューアルか、その際には来るべきデジタル化対応をどこまで視野に入れるべきかなど、いろいろな考え方があります。大切なことは、重複投資を避け貴重な財源を最も有効に活用することでしょう。

運営委員会では西武に協力して、これらの問題を十分に見据えた対応を求めるために、専門家や複数の業者からのアドバイスや見積を含め、より正確な情報収集を求めていく予定です。

また、区民の方々からの専門的なアドバイスや知恵もお借りしていく予定です。



地上波デジタル化を控えて共同アンテナの維持管理は・・・？

環境対策協議会会計を区会計へ繰り入れ(経緯)

平成11年6月から翌年3月にかけて、御宿台に隣接する実谷の牛牧場増設計画に対し、親睦会運営委員会を中心に反対運動を行いました。運動資金として約100万円(親睦会会員378千円、ラビドール御宿200千円、西武434千円)を拠出し環境対策協議会を設置。交渉推進のために、先進的な臭気対策設備の牛牧場の調査と見学をしましたが、これは大変有効でした。

幸い行政、農業公社を含めた当事者間の理解を得ることができ、増設計画は大幅に修正され住民側の主張する臭気対策を含めた当事者間の合意が成立しました(合意書と念書が作成された)。

運動資金の残金436千円は、「緑」の関係費への流用が了解され、噴水公園花壇の花代、肥料代等の整備費、役場提供の櫻樹移植費にそれぞれ100千円を支出してきました。残額は235千円と少なくなりましたので、運営委員会会計に移管の承認を本年度の総会で得たことは既報の通りです。したがって、今後必要な「緑」の費用は管理費から支出されることとなります。

お知らせ

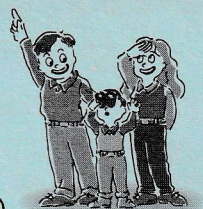
御宿台ファミリー アウトドアクラブ

定住者の増加に伴って御宿台では年々子供の数が増えてきました(4月現在で35人)。しかし、御宿台という地区の特性上、「他地域から移り住んできたために知り合いが少ない」、「近所に子供の遊び相手がいらない」といった悩みを持つ方もおられます。子供さん(中学生以下)を持つ有志の方々の発意で「御宿台ファミリーアウトドアクラブ」の設立が提案されています。代表は109-02・塩入さん。

御宿台周辺の豊かな自然環境を生かし、アウトドア活動やスポーツを中心に子供同士、親同士、そして親子の交流を深め、情報交換を図る場を設けようというのが主旨です。現在、親子同伴イベントのアイデアを募集中です。

7月はバーベキューを計画。イベントごとの自由参加制なので気軽に問い合わせして下さいのこと。

(照会・連絡先: 電話 60-3282・中島さん)



ご利用ください、集会所厨房

集会所は、曜日と時間帯によっては設備(大ホール、会議室、和室など)にまだ余裕があります。併せて、完備されたな厨房もご利用ください。グループの打合せや小会議に際して、お茶や簡単な料理を作ることもできます。炊飯器、食器、グラス、布巾などの什器備品が豊富に揃えてあります。

利用については、西武管理事務所にお問い合わせください。ルールを守りながら、もっと有効に活用しようではありませんか。

生涯学習

成熟した高齢化社会の中で、今や人生50年から人生80年型の社会になったといわれています。教育委員会の仕事は学齢期の子どもを対象とした学校教育の条件整備を進める事が大きな任務ですが、同時に又80年型人生の各年齢層段階における地域住民のニーズに応じて多様な質の高い学習の機会を整備提供して、御宿町に住む誰もが学ぶ事の楽しさ、生き甲斐のある、充実した生涯学習ができるよう支援する事も大事な仕事の一つです。

御宿町教育委員会が所管運営する公民館・歴史民俗資料館・御宿B&G海洋センター等では、地域住民の要望に応えるべくたくさんの講座・教室・自主クラブ等を用意して皆様のご参加をお待ちしております。

これ等の施設は、町民の皆さんの「学びの場」であると同時に「交流の場」でもあります。趣味や目的を共有する仲間が相集い、自己を磨き高めていく、あるいは交流の輪の中でリフレッシュしながら生活に潤いと豊かさを求めていく、すばらしい事ではないでしょうか。

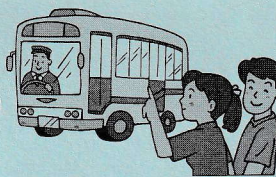
御宿台は、豊かな人材の宝庫だと思います。貴重な体験や深い識見・技能をお持ちの方がたくさんいらっしゃると思います。教える事も又適度な緊張感と充足感の中でみずみずしい若さを保つには大変よい知的活動です。生涯学習の人材活用の視点からもさまざまな学習や講座での指導者・支援者としてご協力くださるようお願い致します。

御宿町教育委員会教育長 岩村 實

●シャトルバスに期待する

ちよつと
ひと言

東京から転居してアツと言う間に10年が経ちました。海と緑のすばらしい環境のなかでの生活は「健康第一」をモットーにする者にとっては最高です。健康の保持は足からと車を持たない私は、駅や買物に行くにも徒歩で往復約7000歩、10年間ずっと続けてきました。しかしながら71歳にもなって、この頃体細胞の劣化はいかんともしがたく、重い物をもっての坂道を登るのもだんだんきつくなってきました。その救いの主がシャトルバス。スペースもたっぷりです乗りやすく助かります。往きは徒歩、帰りはバス、この種の地域バスは都内でも運行されています。これから御宿台住民の高齢化がすすむことを思うとシャトルバスは住民にとって有難い大切な足になることでしょう。いつまでも運行を続けていただきたいものです。



(112-10 小泉 明)

●最近思うこと

趣味の海山遊びがこうじて国内はもとより海外までも足を延ばして20数年・・・縁あって御宿台に定住。秋の台風、冬の寒風、霜害の大歓迎を受けた。空気と景観は好いが、今いち理想郷とはいえないようだ。長い間房総通いをしてきた私にとって、ここ数年、遊び人のマナーの悪さには腹の立つことが多い。海では何でも採りあさり、山では根こそぎ(野草、山菜)持ち帰る。挙句の果ては家庭のゴミまで置いていく始末。外国でのこと、港で手袋を落として注意された(ゴミを捨てたのと間違えられた)。魚介類はサイズまたは個数でつく制限があり、余計なものを取ると厳重に取り締る(但し、採る人数の制限はなし)。最近、なぜか海、山、川など自分の住む周りを美しく快適にしようとする心が薄れてきているようだ(自分だけ良ければいいのかも・・・)。ここ御宿台も、そのような傾向が少しあるのではないだろうか。どうか、南房総一の美しい町といえるようお互いに努力しようではありませんか。

(339-19 八木 政美)



三二情報

5月31日現在

御宿台開発状況

売却済分譲地：1,098区画 建築中：20戸

建築戸数：668戸 定住届出：299戸

乗合バスの利用

3月/204人 4月/381人 5月/465人

春季病虫害消毒：198戸(区運営委員会幹旋)

最高級そばと地酒の店

そば処

竹むら

☎68-8888

くつろぎの館

創作料理

宗苑

☎68-8887



御菓子司

海月堂

製造発売元

御宿町須賀572

☎68-2345

一人前より 出前迅速

うなぎ
鶴丸

高山田 高校前通

☎68-4867

ペンション・中華レストラン

チャイナ

出前 承ります!!

☎68-2920
ニクニレ

本
格
手
打
の
店
本
物
は
国
産
石
臼
碾

きりばし

上布施

☎68-5220

◆ 御宿台の良さを何時までも

広々とした風景、整備された道。「わあー、すごく気持ちいい」と歓声をあげたのは御宿台が開発されて間もない頃でした。勝浦・興津の海拔110メートル、眼下に海の広がる山の上に別荘を持ったのが十数年前、初めの頃こそ海を眺めることもありましたが、次第に車で山の方に出かけることが多くなりました。その頃バツリと遭遇したのがこの御宿台の別荘地でした。瞬間に頭をよぎりました。「シマッタ、もう少し早ければこの地に住みたかったのに」と。それからというもの、勝浦に行く度に必ず御宿台に寄りました。

こちらに移り住む事が実現した最大の理由は私の糖尿病の発病でした。散歩のできる道がたくさんあるということで大義名分が立ちました。3年前に建築に掛かり2年前に移り住む事になりました。今は時々しか行けない状況にありますが、御宿台の良さが何時までも変ることなく保たれますことを切に願わずには居られません。

(314-01 国行 富子)

◆ 魚と暮と御宿雑感

広い海に見える素晴らしい住環境に惹かれ、65年間住み慣れた岡山から2年前に思い切って御宿へ移住してきた。穏やかな瀬戸内の気候と違い、外海特有の強い風と雨には閉口しているが、それ以上に驚かされたのは何といっても魚介の新鮮さ、種類の豊富さである。岡山でも瀬戸内海のような小魚が口に入るが、鮮度ではこちらの方が断然上である。地元のスーパーでは足がまだ動いている活イカがパック詰めで並べられている。塩と酢で一寸締めれば刺身でいけるサバが氷詰めで売られている。アジやカツオにイワシやサザエなど、豊富な地魚は酒の肴に事欠くことはない。それでも飽き足らず、安くて美味しい魚を求めて近辺の鮮魚店に足を運んだりしている。1年前には息子夫婦と孫達が東京から越してきた。我が家は毎日の食卓に魚介が欠かせない魚食一家なので大いに満足している。ところで、私は週に1,2回御宿台の同好会、あるいは他の暮会所に出向いて趣味の暮を楽しんでいる。出来れば毎日でも打ちたいほどの暮キチである。同好の士は是非、我が家で一杯やりながら時間の許す限り、お手合わせ願えませんか。(420-01 中島 敏幸)

やまぼうし

区民の談話サロン

◆ 二年が過ぎて

2年前の5月に築10年の家を購入して、あっという間に時が過ぎた。現在は府中に居を置き6人家族。数年前から子供に手が掛からなくなり夫婦でドライブの機会が増えた。家内の庭作りが昂じていく先は植物園、ガーデニングショップ、よそ様のお庭拝見等々、そんな中、大多喜のハーブ園に来た時の事、折角だからと外房巡りをした。山々の緑、長閑な田園風景、潮風の香り、一瞬私の頭をこんな処に住めたらとの思いが過ぎた。しかし家内は全くその気なし。紆余曲折を経て今の住まいに巡り会えた。今では家内が完全に虜状態。140kmの道のり、往復すること約100回、悪戦苦闘の末府中の庭は御宿にほぼシフト、建物の内外装のリフォームも見よう見まねで完成まであと一歩。最近では気持ちに余裕もでき、道中季節の移ろいを感じ、ご近所の方との交流も日増しに増え、家内共々一日でも早くこちらに住みたいとの思いが募る今日この頃です。

(207-08 津金 義信)

◆ 御宿にて

月の大半を御宿台で暮らし始めてもう1年が過ぎました。夫がリタイアを機に環境を変えたいという提案に最初難色を示していた私でしたが、当時非常にゴルフに熱中して夢の中でもスイングを繰り返すという状態の私が、夫の「ゴルフ場が近いよ」の一言で即決。しかし東京への思いを馳せ感傷にひたり落ち着かない日々が続きましたが、先日初孫のお宮参りをすませたの帰途、海を見ながら「ここまで来るとほっとするなー」という夫の言葉に同感した私でした。

先日ポストに干草が敷きつめられているのを発見しましたが、後に小鳥の巣作りとわかりほほえましい気持ちになりました。

これからは色々な出会いを楽しみに海と緑豊かな自然に同化して暮らしていきたいと思っております。

(214-05 西田 善子)

編集 後記

暑中お見舞い申し上げます。7月に入ると、いよいよ夏本番となり、今年も暑い日々が続きそうです。夏になると、海岸辺りはもちろん、御宿台も多くの人で賑わう季節になります。人が多くなれば、生じる問題の一つに「ゴミ」問題があります。町では、昨年度、ゴミ焼却施設の改修工事が終了し、ダイオキシンの発生も

ガイドラインを大幅に下回る良好な結果になっています。また、海岸砂地のクリーン作戦のためにビーチクリーナーを導入しています。今後は、ゴミ処理施設の適正管理を主に運営する中で、分別・リサイクルの徹底によりコストの削減を図ろうとしています。

御宿台では、住民は定住者および非定住者(別荘利用)に拘わらず、町で定めた分別区分を守って、ゴミを出しましょう。(矢作)

区運営委員会委員

鈴木正也	会長	210-13	68-6961
滝口義雄	渉外	103-09	68-3661
加藤一輝	広報	211-09	68-5755
宮田成隆	総務	230-07	68-7822
矢作舜二	会計	238-12	68-8677
水本清司	広報・記録	313-02	68-3115
小林英輔	環境・衛生	319-10	68-5482
佐伯光一	環境・衛生	405-12	68-6360